

総務教育委員会

協議会
11月14日

パートナーシップ制度の導入へ

誰一人取り残さない
多様性社会の実現を
目指すため、本町もパ
ートナーシップ制度を導
入し、LGBTQの人
たちが抱える困難の解
消に取り組む。

制度のスタートは、
令和5年7月を予定。

問 届出(宣誓)した
人のメリットは。

答 病院への付き添い、
アパート入居など
利便性ができる。

問 近隣自治体の取り
入れ状況は。

答 岡崎、蒲郡、西尾
の各市で、それぞ
れ実績もある。

町職員の定年を
65歳まで引き上げ

令和5年度から2年
に1歳ずつ65歳まで引
き上げる。役職定年は
60歳を基本とする。

問 60歳以降の給与は
どうなるか。

答 それまでの7割を
水準に設定する。

相見駅東口1階に
防災備蓄倉庫設置

問 備蓄倉庫の目的と
備蓄品の収容量は。

答 大規模災害時、駅
に留まる帰宅困難
者500人分を備蓄。

問 今後の駅に設置
する予定は。

答 三ヶ根駅、幸田駅
と順に設置する。

(その他7項目を協議)



相見駅東口の防災備蓄倉庫

福祉産業建設委員会

協議会
11月7日

坂崎保育園大改修工事始まる

坂崎保育園は、昭和
63年の改修以来34年が
経過、老朽化も著しい
ため大改修により、施
設の長寿命化を図るも
のである。

問 工事の進め方の注
意点は。

答 子どもたちの動線
を考えながら進め
ていく。

正門の門柱撤去工事
は大きな音が出るので、
休園日に実施した。

また、工事完了まで
は西門を利用した。

(その他9項目を協議)

問 門柱の撤去後の土
地利用は。

答 駐車場のな利用も
含め、園とともに
考えたい。

問 園にふさわしい入
口を造ってほしい
が。

答 坂崎保育園の文字
は壁に残っている。
少し重い扉で、子ど
もが外に出ていかない
よう、安全面も考えて
いきたい。



大改修中の坂崎保育園

行政視察
10月5～7日

学校体育館の暑さ解消対策などを視察

令和4年10月5日から7日にかけて、幸田町の喫緊の課題である学校体育館の暑さ対策、空き家の利活用、公共交通システムの在り方など、参考となる施策をしている2市1町を訪問した。

10月5日

大阪府島本町 第4小学校体育館の暑さ対策

大量の冷たい風を吹き出す強力スポットエアコン「スポットバズーカ」を、体育館の四隅に設置して冷風を循環させ、人の背の高さくらいを目安に館内を冷やすようにした。

夏場など暑さで外では危険な時に、安全で快適な環境の中で、児童生徒が体育館での授業や部活動が出来るようになった。



スポットバズーカの冷風を体感

同機器は移動も出来、授業内容などにより、有効な場所へ移す事が出来る。他に住民の一般利用や、災害時の避難所としても使われ、利用者の感想は、音も気にならないなど、概ね好評であった。

島本町では、町立の4小学校、2中学校に設置している。

幸田町の小中学校体育館にも、是非欲しいものである。

10月6日

奈良県生駒市 空き家流通促進事業



空き家を利活用した学童保育所

全国初のオーダーメイド空き家対策、「プラットフォーム」を構築して、空き家の流通促進を図った事業である。

所有者から空き家情報を得て、民間業者で構成される「プラットフォーム」へ提供し、物件ごとに流通に向けた支援方法を検討する仕組みである。

毎月1回不動産団体や学識経験者、市担当で空き家流通促進検討

会議を行っている。令和4年9月現在、取り扱い件数111件、成約件数は60件と成果を上げている。情報提供した所有者の意向に応じた支援策を「プラットフォーム」が真剣に寄り添い成果を出している。

空き家の利活用にも多様性があり、福祉施設や地域交流拠点などにも利用している。

空き家が民間学童保育所になったのが良い例であり参考になりたい。

10月7日

兵庫県西宮市 コミュニティ交通の取り組み

関係諸団体や専門家を派遣して話し合いを始め、具体化してきた。実際に試験運行を重ね、地域の人に便利さを知ってもらい、ルートや便数、運賃の設定を行っている。

運賃は、大人300円こども200円。

公共交通は高齢化などもあり、その必要性は増々高まっていく。

幸田町の公共交通も町の皆さんの声を聴きながら、いま一度あるべき姿を考え、みんなが喜んで利用してもらえるものにならなければならない。

西宮市のコミュニティ交通の導入は、地域の人達が必要性を感じ、自ら協議会を立ち上げてスタートしている。それに対し自治体が

